

GSway

ともに歩み、ともに進む

7
Aug. 2019

02 | 特集

グローブシップを見える化



07 | 支店へようこそ！（西東京支店）

08 | お客様とともに歩む

10 | NEWS&TOPICS

12 | 日本史の中のスーパーフード

戦略FMパートナー
 **GLOBESHIP**

特集：ここが変わったコーポレートサイト

グローブシップを**見える化**

2018年12月、グローブシップはコーポレートサイトを全面刷新いたしました。新サイトは、全体的にコーポレートカラーを活かした情熱的なデザインです。また現場の社員を登場させながら「現場の顔が見える」企業姿勢を訴求しています。本特集では、ぜひご覧いただきたいポイントを絞り、サイトの特徴をご紹介します。



【QRコード】



グローブシップのコーポレートサイトはこれまで「2社の統合によってできた企業であること」を一番の訴求目的としてきました。私どもは2015年4月以来、お客様から変わらぬご支持をいただきながら企業活動を継続。統合から約3年が過ぎた2018年6月に、当社の今と目指す方向をより具体的にお伝えしたい、という思いから社内にプロジェクトチームを発足しました。

約10人のチームリーダーを務める瀬本陽一郎常務執行役員はサイト作りについて次のように語ります。「当社の強みは、自社の社員でサービスをお届けするところ。そのため普段から大切にしているのは当事者意識です。これを踏まえ、一人でも多くの社員の

顔が見えるように心がけました」。

また、プロジェクトメンバーの営業企画部長の西川浩平は「特に新卒の方に対して、必要な情報を入手しやすいサイトを意識しました。我々のメッセージを読み取ってもらえるようなサイトに作りこんでいます」と採用情報でのポイントを強調します。

安全品質推進部長（当時、FM推進部長）の佐藤幸夫は全面刷新について「一番の目的は、弊社がどういった会社であるか。サイトを介して少しでも多くのことをご理解いただける内容にしていこうと取り組みました」と語りました。



常務執行役員瀬本陽一郎（写真左から2人目）、営業企画部長西川浩平（真ん中）、安全品質推進部長佐藤幸夫（写真右から2人目）と、プロジェクトチームメンバー



1 プロジェクトストーリーを読む 営業スタイルを**見える化**



今回のリニューアルで特に注力した部分は「採用情報」です。
当社の「人」と「仕事」についてより具体的に知っていただくために、
1つのご契約事例を「プロジェクトストーリー」に仕立て、戦略を**見える化**いたしました。

ストーリーの元となったのは、2015年の統合により新設した営業九部。日頃から仕事を通じて実践していることへの自信を、自負しているからこそこのような形でご紹介できました。少し格好良すぎる部分もありますが、通り一遍の紹介ではお伝えしきれないような、グローバルシップの企業活動と社内コミュニケーションの在り方、チームワークまでをご理解いただける内容になっています。



GSの人と仕事をもっと知る



採用情報内の「人と仕事を知る」では、グローバルシップで働くということについて、「高卒編」「大卒編」に分けた座談会を再録しています。それぞれの等身大の目線から、働く意義と喜びに出逢う様子をたっぷりお伝えしています。

当社に対して、新たに施設管理やFMの発注をご検討されるお客様に対しても「ニーズに合致する内容になっているか」「お客様に上手くアピールできるサイトになっているかどうか」を検討しながら作成いたしました。

2 グローブシップの目指す姿 FMの未来を**見える化**



お客様のビジネスの成功を共に目指し、ファシリティマネジメントの未来を創造したい。
スペシャルサイトでは、「SFM (戦略FM)®」のキャッチフレーズとともに
グローブシップが目指す方向を見える化しています。

グローブシップでは2016年3月に総合施設管理 (IFM) の世界的大手の仏・ソテックス社との業務提携をきっかけに、世界標準に基づくFMの在り方を本格的に取り入れ始めました。外資系企業で標準となっているIFMも、国内市場ではこれから。当社では「SFM (戦略FM)®」としてお客様に貢献するべく、強みを積み上げながら進めてまいります。



「SFM (戦略FM)®」のサービスメニューは、個別に現場の状況分析を行い、あらゆる施設形態・用途にマッチした効率的なトータルFMメニューをご提供します。具体的には、建物自体へのサービスに加え、その建物をご利用になる方へのメニューを増やしました。このことを1つ上の領域を目指すグローブシップの姿勢として、これからもアピールし続けます。



図解、ソリューション提案事例



お客様の仕事環境を整えるためには何が求められるのか。日頃感じておられる問題点について、組織・ベンダー・ソフト面など6つの視点から総合的に分類しながら課題改善につなげる事例をご覧ください。



3 HISTORY OF 3 COMPANIES

GSの歴史を「見える化」



国内のファシリティマネジメント業界の草分け的な存在である
 2つの企業の統合によってスタートした、グローブシップ株式会社。
 「歴史・沿革」のサイトでは、統合前からの歩みをさかのぼることができます。



長きにわたってお客様からいただき続けるご愛顧こそが、今のグローブシップにつながっています。前身となる、株式会社ビル代行と日本ビルサービス株式会社がどのようなご縁をいただきながら企業活動を継続してきたのか、「歴史・沿革のサイト」では、企業ルーツとグローブシップの礎をご理解いただくサイトとして、2社の歩みをご紹介します。2015年4月の統合を境とした、会社の足跡が辿れます。

会社の歴史をスクロールでサクサク知る



画面を下にスクロールしていくと、現在から過去への順に歴史を遡ることができます。当時の年表と写真を追いながら3企業の物語としてシームレスにご覧いただくことができます。

4 信頼と品質を守る「グローブシップ研修センター」 人づくりを**見える化**



サービスの現場においては、私ども一人ひとりがグローブシップの代表です。その信頼と品質は、当社の人づくりが根幹となっています。なかでも技術面での育成を担う「グローブシップ研修センター」のサイトについてご紹介します。

独立系企業であるグローブシップが多くのお客様の現場をお預りさせていただけるのは、これまでの実績とサービス品質を評価いただいているからこそ。
国内のすべての現場でこの品質を守り続けるためには、そこで働く一人ひとりの技術面での育成が不可欠です。グローブシップには、これを可能にする「GS研修センター」があり、その施設の充実是他社との差別化にもつながっています。
サイトでは、従業員の階層別研修や、理論と実践の両面から学べる研修センターの詳細が紹介されています。年々、外部の方からの研修依頼や見学等のお問い合わせも増えていきます。



サイト内のフォトギャラリーでは、カーソルで写真を指すと対象の16ゾーンについて行われる各研修が分かるようになっています。

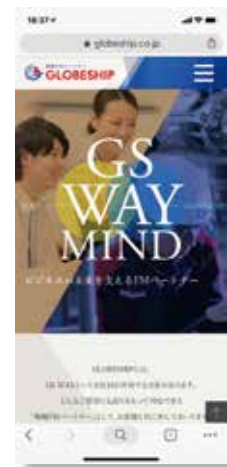
データで知るGS

「グローブシップ研修センター」の情報は、採用情報からご覧いただくことができます。採用情報には、他にも当社の企業力をビジュアル化した「会社を知る」サイトで売上高や従業員数などが一目で分かりやすく紹介しております。



Point

**どこからでもアクセス！
マルチデバイス対応**



リニューアルしたコーポレートサイトは、スマートフォンやタブレット端末にも対応。外出先からも気軽にご利用いただけます。



支店へようこそ! 西東京支店

全国に広がるグローブシップグループのネットワークをご紹介します。

役割の明確化を徹底 既存顧客へのきめ細かな対応を



西東京支店
支店長 坂井和彦

西東京支店では、多摩地区の建物管理を中心に専門性を持ったスタッフがお客様のご用命をお待ちしています。施設の快適空間の創造と安全・高品質を提供いたします

東京都の多摩地域、国立市に位置するグローブシップ(株)西東京支店。その支店歴は、旧日本ビルサービス(株)が1991年に同市に設立したインテリジェントパークサービス(株)にまで遡ります。設備管理を業務の軸として地域に根差して貢献を続け、2015年統合によりグローブシップとして営業しています。

JR中央線沿線で吉祥寺から八王子の多摩地区(30市)を営業範囲とする同支店では、エリア内にある駅ビル・商業施設・大型電算施設・銀



行・大学・大型工場などを中心に約60現場の施設管理を151人のスタッフで担当しています。

坂井和彦支店長は「お客様の施設が当支店と地理的にも近いことから、各現場への定期的巡廻だけでなくどのようなご依頼をいただいても迅速な訪問と対応を心がけています」とフットワークの良さを自負しています。

同支店では、独自の取り組みとして2018年より協力会社と「安全衛生会議」を開催しています。「現場で

の安全衛生の基本項目を、膝を突き合わせて、より確かな形でお伝えし、共有したいのです」と語る、泊課長。コミュニケーションを深めながら、お客様のために最善を尽くす支店を目指してまいります。



ダンガル・ビンド設備員(ネパール国籍) / 国際基督教大学出張所「入社して早1年。空調運転管理の仕事を任せられ先輩の指導を受けながら頑張っております」

支店情報

グローブシップ株式会社 西東京支店

- 所在地: 東京都国立市東1-4-13 COI国立ビル
- 設立: 2015年4月
- 従業員: 151人(清掃パート含)



Building Profile

丸の内 MY PLAZA

- 所在地：東京都千代田区丸の内2-1-1
- 敷地面積：11,346.78㎡
明治安田生命ビル／地上30階・地下4階、延床面積148,727.73㎡
明治生命館／地上8階・地下2階、延床面積31,762.00㎡
- 主要用途：明治安田生命本社及びテナントオフィス、ホール、物販・飲食店等



1997年に国の重要文化財に指定された明治生命館

重要文化財と最新鋭ビル 街区として共生

明治安田ビルマネジメント株式会社 丸の内センター（東京都）

国の重要文化財と、最新鋭の超高層施設が融合する街区「丸の内 MY PLAZA」。その魅力と建物の未来を見据えた共生について、明治安田ビルマネジメント株式会社丸の内センターの執行役員兼センター長 遠矢幸一郎様におうかがいしました。また、グローブシップからは明治安田生命ビル出張所の高橋雅英所長が業務についてご説明します。

丸の内を代表する街区に

東京・丸の内。皇居の内堀に面した一等地に、壮麗な古代ギリシア建築の列柱が目目を引く建物「明治生命館」があります。同館は、洋式建築の名手と呼ばれた東京美術学校（現・東京藝術大学）の岡田信一郎教授の設計により、1934年に建設されました。戦後、GHQに接収された時期を除き、竣工当初からオフィスビルとして機能してきました。建築物は、ネオルネッサンス様式の最高傑作と高い評価を受け、1997年には、国の重要文化財に指定されています。

明治安田生命は、この歴史ある建物を全面保存しながら、隣接地に超高層ビルを建設する再開発プロジェクトを計画。2004年に完成したこの街区は、「丸の内 MY PLAZA」と

名付けられました。施設の最大の特徴は、歴史ある「明治生命館」と新たに建設した「明治安田生命ビル」との共生です。

明治安田生命ビルの外装には、明治生命館と調和するよう、イタリア産の花崗岩を使用。低層棟は、丸の内地区にある歴史的建造物の軒高31mを継承し、街並みの統一感を保ちました。さらに最新の耐震性能、ITはもちろん、環境にも配慮した設備などを設置。1フロア約850坪、天井高2.9mという空間で、全周に設置した大



意匠も当時のまま使われている

きな窓からは自然採光と抜群の眺望が得られます。

一方、明治生命館は皇居側の正面外観や2層吹き抜けの店頭営業室などを修復、内装や家具も保存再生し、創建当時の意匠を再現しました。さらに、3～8階は全面改修、最新の設備や機能を備えたオフィスフロアとしています。

低層階には飲食や物販などの商業施設が入居し、にぎわっています。商業施設に面するアトリウム（貫通通路）からは重厚感のある明治生命館を間近に見ることができます。

建物の価値を未来へつなぐ

「建物は竣工後、年数を経るごとに、その個性が高まっていくため、数十年先を見据えた計画性が必要となります。同時に、現状に即した最善策を考えることも不可欠です。最新設備や機能を備えた施設であっても、時にはアナログ的な対応をとるなど、臨機応変な対策が重要です」と語るのは、明治安田ビルマネジメント丸の内センターの執行役員 遠矢幸一郎センター長。

明治生命館は1957年からグローブシップの前身である旧ビル代行が建物の管理業務を受託し、「MY PLAZA」完成後も引き続き施設の総合管理業務を受託しています。

「ビル代行時代から長らく信頼関係を構築しています。これまでの実績はもちろん、業務に関する



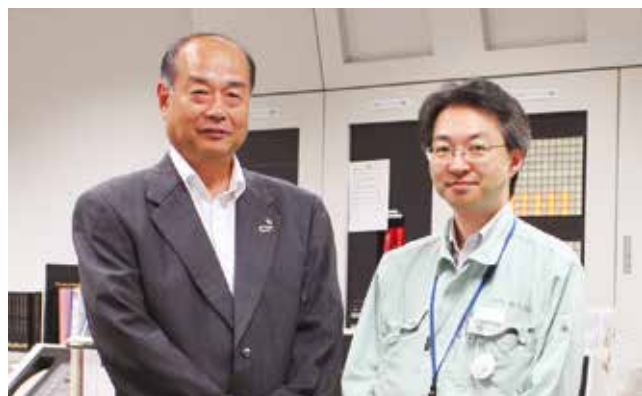
明治安田生命ビルアトリウム

研修を行うなど研鑽を積み、管理の水準を保たれていると評価しています」(遠矢センター長)。

グローブシップの管理側の責任者である明治安田生命ビル出張所所長の高橋雅英は「明治安田生命ビルマネジメント様との毎日の打ち合わせを行い、スタッフ全員での速やかな情報共有を心がけています」と説明します。業務の実施に当たっては、歴史的建造物に適した管理技術が必要となるため、日々の点検を重視し、必要な場合には設計や施工を担当した企業や文化庁へも問い合わせた上でいいいな対応がなされています。

「建物資産価値の向上に

向けた提案を行うことはもちろん、建物を利用する方から、『弊社スタッフは明治安田生命様の一員として見られている』という意識を持って、日々の業務にあたっています」と高橋所長。ホスピタリティを尽くした行動が、建物の価値を未来につないでいきます。



明治安田ビルマネジメント株式会社丸の内センターセンター長 遠矢幸一郎様(左)とGS明治安田生命ビル出張所所長高橋雅英

出張所概要

明治安田生命ビル出張所

- 受託内容：設備管理、清掃管理、駐車場管理、警備
- サービス体制：設備管理23名、清掃管理25名、駐車場管理・警備10名

明治記念館一般開放日

【土・日曜】11:00～17:00

【水・木・金曜】16:30～19:30

水～金曜(祝日は除く)は、2階の一部と1階ラウンジのみの公開となります。

「GS WAY」の実践を通じてお客様に期待以上のサービスを 第3回「GS WAYコンテスト」開催

グローブシップグループには、全社員が業務を遂行していくうえで遵守すべき「GS WAY(グローブシップウェイ)」があります。2017年の策定以来、サービスの現場で一人ひとりが取り組んでまいりました。この「GS WAY」の具現化と浸透の度合いを評価するべく第3回となる「GS WAYコンテスト」を本社9階大会議室で6月3日に開催いたしました。

コンテストでは、事前に提出された「GS WAY」の浸透に関する計画書を元に応募のあった19の出張所から7つの出張所が選出、発表者たちは各現場の取り組みの工夫を披露、共有しました。

厳正なる審査の後に行われた表彰式において、金賞に輝いたのは「早稲田大学出張所(営業九部)」。続く銀賞には「東京国際空港国内線第2旅客ターミナルビル出張所(営業九部※)」が、銅賞には「男女共同参画センター横浜出張所(横浜支店)」が、さらに

4出張所が優秀賞を受賞し、社長の矢口より表彰状が授与されました。

また、GS WAY専門委員会の委員長を務める勝仁志常務取締役が総評として「現場の環境はさまざまですが、各事情に沿った形でGS WAYの実践に取り組まれています。7つの出張所に共通したキーワードは“全員参画”。これが当事者意識につながり、最終的にお客様の信頼につながると信じています」と語りました。

本コンテストの内容を模範として共有することで現場へ持ち帰り、今まで以上にGS WAYの浸透を推進してまいります。

※羽田空港旅客ターミナルは、英国SKYTRAX社が実施する2019年国際空港評価において、「World's Cleanest Airports部門」で世界第1位となっている。



喜びにあふれる受賞者の面々



金賞に輝いた早稲田大学出張所



GS WAY 専門委員長の勝常務

新しい活力として入社した72名

2019年度グローブシップグループ「三社合同入社式」開催

4月1日、グローブシップはグループ会社である株式会社アトックス、日東カストディアル・サービス株式会社(以下、日東CS)と三社合同で入社式を本社にて開催しました。本年度はグローブシップに38名、アトックスに26名、日東CSに8名の合計72名の新入社員を迎えました。

入社式では3社の代表を務める矢口敏和から辞令を交付。各社の新入社員代表が受け取りました。矢口代表の訓示では3社の現況が説明され、グローブシップグループの行動規範「GS WAY」の中から、「誇り」「当事者意識」「チャレンジと自己実現」が取り上げられました。

「これから先、会社も皆さんも何時も順風満帆という訳にはいきません。大事なことは、何があっても逃げずに立ち向かえる準備を何時もしていること

です。私たちの夢や希望はその困難を乗り越え、新たな道を切り拓いた先にあります。今日入社し、私たちと同じ船に乗り込んだ皆さんには、そうした気概と覚悟を共有していただき、私たちと共に帆をいっぱい張って大海原を目指していただきたい。皆さんがこれからの長い人生で会社のみならず社会にも貢献し、豊かで充実した素晴らしい人生を送ることを祈念してお祝いの挨拶とします(一部抜粋)」と述べました。

役員紹介に続いて、新入社員代表者による「誓いの言葉」があり、決意を宣言しました。これを受け、先輩社員を代表して安倍諒治(アトックス/2018年度入社)が「歓迎の言葉」で迎えました。

新入社員は、規定の社員研修を終えてすでに現場に配属されています。若い力にご期待ください。



ダイバーシティの一環として農園活用

「さいたま岩槻ファーム」で障がい者の入園式

6月5日、当社の佐藤常務他人事担当者が出席して、障がい者雇用促進の一環として開設された「さいたま岩槻ファーム」(さいたま市)で入園式が開かれました。グローブシップでは、運営を担当するエスプールプラス社と2018年に契約。ダイバーシティ促進の一環として、ファームで働く障がい者を雇用する試みを始めました。

今回の入園式は入園者とその家族12名が参列。佐藤常務が当社のダイバーシティへの取り組みをス

ピーチした後、一人ひとりに社員証を手渡しました。今後、指導者(農場長3名)と障がい者9名が3つのチームに分かれて敷地内のビニールハウスで農作物を育ててまいります。



編集後記——「共用品」という言葉をご存知でしょうか。広辞苑によると「障害の有無や身体特性に関わりなく、誰もが利用しやすい製品」のことです。この共用品や共用サービスの普及活動を通じてバリアフリー社会の実現を目指して活動している団体が公益財団法人共用品推進機構です。このたび同協会の星川安之専務理事のお勧めにより、「人と地球にやさしい快適環境の創造」を標榜している弊社も、加入させていただきました。共用品の視点からビルや施設、サービスを見直すことによって、新たな視点が開かれると期待されています。清掃のロボット化を始め、より良いサービスを目指す当社の挑戦は今後も続きます。(総務部 本紙編集部 岡田玉規)

GS way 7号 2019年8月7日発行
発行：グローブシップ株式会社 総務部
東京都港区芝4-11-3 芝フロントビル
TEL.03-6362-9701

※本誌記事・写真の無断転載・転用・複製(コピー)を禁じます。

「人生100年」時代、**アクティブ・ハンドレッド**を目指そう！

其の七 江戸で評判の弁天娘 笠森おせんの 美貌を保ったお茶

永山久夫 食文化史研究家



◆水茶屋の看板娘

江戸の男たちは、器量よしのことをよく「お弁」とか「弁天娘」などと呼んだ。

川柳にも「裸でもいいと、お弁は貰はれる」とあるように、支度も何もいらぬからといって、「玉の輿」にのって嫁入りできた。

江戸では、人気の高い弁天娘は、水茶屋に多かった。水茶屋は茶見世とも呼び、団子などを食べながらお茶を飲んで、休息する店である。

江戸に水茶屋が出現するのは早く、元禄(1688～1704)の頃にはすっかり定着していた。浅草や上野などの盛り場に多く、汁粉、団子などを出して、渋茶を提供した。一服が5、6文だから、現在でいうと100円前後となり、コーヒーよりかなり安い。

店には弁天娘がいて、赤い前かけでサービスもよく、愛嬌もたっぷり。客の中には弁天娘めあてに通ってくる客も多く、次のような川柳がある。

茶を五、六十杯飲んで手を握り
看板娘の手を握るのも、容易ではない。

◆お茶を飲んで色白美人

明和(1764～1772)の頃、江戸中で評判になったのが、谷中にある笠森稲荷境内の水茶屋で働いていた、おせんという娘。

向う横丁の お稲荷さんへ
一銭あげて ざっとおがんで
おせんの茶屋に
腰をかけたなら 渋茶を出した



当時、広く歌われていた有名な手まり唄。おせんは人気があるからといって、化粧をするわけでもなく、全くの素颜美人。瓜実顔で目元凛々しく、浮世絵から抜け出たような柳腰。見物人があまりにも多く押しかけてくるので、店では仕方なく水をまいて人を散らすほどだったと伝えられている。

自分でも渋めのお茶を好んだというから、茶葉に含まれている美容効果の高い成分が、彼女の若さと美しさを保っていたのではないだろうか。

その成分のひとつがカテキンだ。

お茶を飲んだ時に感じる「渋み」がカテキンで、抗酸化力が強く、美しい肌や容貌の衰えを防ぐ作用が強い。肌のつややかさを保つビタミンCも多い。ビタミンCは水溶性で、湯をかけると水中に溶けだしてしまうが、お茶はその溶けだした液体を飲むのだから、効果的にビタミンCをとれる。お茶の

うま味はテアニンで、リラックス効果で知られているが、抗肥満作用もあり、おせんのほっそりとした柳腰の維持に役に立っていたのはまちがいない。

ところが、おせんは突然に姿を消してさわぎになった。人知れずに結婚していたのである。子宝にも恵まれた仲のよい家庭を築き、77歳の長寿を全うし、幸せな一生を終えた。

.....
永山久夫 食文化史研究家 1932年生まれ。古代から明治時代までの食事復元研究の第一人者。長寿食や健脳食の研究者でもあり、長寿村の食生活を長年にわたり調査している。『「和の食」全史』ほか著書多数。